

令和8年度 遠野市立青笹小学校 働き方改革アクションプラン

遠野市立青笹小学校では、「遠野市立学校教職員働き方改革プラン」に基づき、以下の取組により学校における働き方改革を推進します。

目指す姿

- ◆ 信頼関係の構築と業務の円滑な進行を図るために、教職員同士が意識的にコミュニケーションをとる姿。
- ◆ 教職員一人一人が学校経営への参画意識を高め、学校課題に対しチームとして協働する姿。
- ◆ 仕事の質の向上を目指し、教職員一人一人が主体的に業務の見直しや改善を図る姿。

働き方改革の重点取組

取組① 時間外勤務時間の削減

- ◆ 週1回の職員集会の在り方を工夫することにより、各月の定例職員会議を効率的に行う。
- ◆ 業務の偏りや一人で抱え込んでいる職員がいないか、管理職が把握し、必要に応じた対策を講じるなど働き方改革につながるよう業務の分担を進める。
- ◆

取組② 一人一人の主体的な業務の見直し・改善

- ◆ 職員一人ひとりが自身の働き方や勤務時間の状況を把握する。
- ◆ 月曜日を全学年5時間にしたことによって確保された放課後の時間について、活用の仕方の工夫に努める。
- ◆ 日頃から業務改善の意識をもち、見直しや改善に積極的に取り組む。

取組③ コミュニティ・スクールを活用した地域の協力による学校づくりの推進

- ◆ 学校運営協議会委員のエリアコーディネーターとの連絡を密にする。
- ◆ 学校行事だけでなく、日常的な学習活動等への地域人材および地域資源の活用を積極的に行う。
- ◆ コミュニティ・スクールのしくみを活かした地域協働学校活動のさらなる推進を図る。

	現状	具体的成果目標 (数値目標)	関係する 重点取組
目標①	時間外在校等時間が月 80 時間以上の職員がいた。	時間外在校等時間が月 80 時間以上の人数を 0 にする。	①②③
目標②	19 時を過ぎての退庁者がいる。	月 4 回程度は 18 時までに退庁する。	①②③
目標③	集会と運営会議・職員会議の持ち方に工夫の余地あり。	職員会議の時間を 50 分以内にする。	①②